慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	岩﨑, 佑太(Iwasaki, Yuta) 宮下, みなみ(Miyashita, Minami) 池中, 愛海(Ikenaka, Ami)
Publisher	慶應義塾大学独文学研究室
Publication year	2018
Jtitle	研究年報 (Keio-Germanistik Jahresschrift). No.35 (2018. 3) ,p.95- 95
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN1006705X-20180331-0095

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

35 号『研究年報』が完成しました。今回は学生 2 名の論文にくわえ、商学部所属の西尾宇広先生がご投稿してくださいました。また、文化の越境をめぐる演劇学の最新の研究を翻訳し、その監修と解説を平田栄一朗先生にお願いすることができました。編集委員をはじめ、査読会に参加してくれた独文科の仲間たち、論文の執筆にあたり適切なアドヴァイスをくださった先生方、多くの方々のご協力のおかげで充実した研究成果を発表できることを、心よりうれしく思います。会員のみなさま、引き続き『研究年報』への積極的なご投稿およびご提案をお待ちしております。（編集長　岩﨑佑太）

本号で 35 年目を迎えた『研究年報』は、先輩方が築き上げてくださった慶應独文の遺産にほかなりません。この遺産を編集委員はバケツリレーのようにただ引き継げばいいというわけではなく、必要となれば積極的な変革も実行していく必要があります。この強い意識のもと、『研究年報』を守り育てていく仕事に微力ながら携わらせていただけたことを、心から誇りに思います。支えとなってくださっている会員のみなさま、先生方、そして特に編集委員会の仲間たち――執筆者や読者の方々の身になって考える想像力の大切さに改めて気付かせてくれた編集委員長の岩﨑くん、いつも持ち前の聡明さで丁寧に業務をこなしてくれた庶務の池中さん――に、最大級の感謝をささげます。（会計　宮下みなみ）

今回、論文の執筆者であると同時に編集委員会の一員でもあるという立場で『研究年報』にかかわらせていただき、研究者として大きな財産となる体験をさせていただきました。執筆者だけではなく、編集委員や会員の方々が多くの時間と熱意を傾けることによってひとつの雑誌ができあがっているのだということを実感し、『研究年報』発行にご尽力いただいたすべての方々に感謝いたします。また、今回論文を投稿するにあたって、非常に丁寧かつ熱心なご指導を賜りました識名先生、編集委員の岩﨑先輩、宮下先輩には、本当にお礼の言葉が見つかりません。この場を借りて、深く感謝申し上げます。（庶務　池中愛海）